

R6年度 事業名	子どもエコクラブ活動支援事業
R5年度 事業名	子どもエコクラブ活動支援事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課		開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	小・中学生の環境活動を促進し、環境保全に対する意識・知識の向上、将来の環境市民育成を図る。					
	概要	小中学校の各クラブによる環境保全活動に対し補助金を交付。各子どもエコクラブは、活動報告会（発表会および壁新聞掲示）を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金交付は市、事業実施はNPOとの協働		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	子どもエコクラブの活動支援(補助件数)1団体あたりの補助額(1万8千円)		割	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10	10	
	子どもエコクラブ活動報告会の開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	子どもエコクラブ活動校数		校	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	12	12	12	12	
	計算 根拠	子どもエコクラブ取組み学校数		達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	420	450	486	450	450		事業タイプ	単独事業
	決算額	400	414	486	378	378		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	8	601	環境まちづくり推進事業費補助金	16,560	450
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	450

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1			
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内小中学校での環境保全活動を推進するために、こどもエコクラブ活動補助金を交付して、活動を支援する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内12の小学校において、21クラブに補助金を交付した。 2月3日(土)にこどもエコクラブの活動交流会を開催した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	事業自体は活動できるが、総決算といえる発表会に関して、休日出勤となる教員の負担が大きいため、各学校で教員が参加児童を引率する方式から令和5年度は保護者が児童を送迎し保護者も参加可能な方式に変更し、結果保護者の入場が増えたことで参加者数が増加した。 教員の負担が大きいことから、クラブ数は令和4年度の27クラブから令和5年度および令和6年度は21クラブと減少傾向である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	環境活動団体補助事業
R5年度 事業名	環境活動団体補助事業

総合戦略 体系	454	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	環境市民の育成
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	2000	終了年度	9999
	目的	環境まちづくり活動の活性化および環境市民の育成を図る。				
	概要	活動助成補助金を交付する。 また、環境フェア、環境教育支援センターなどで、環境啓蒙活動の協力を依頼する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	環境活動を実施している非営利環境団体へ、補助率2/3で、8万円を限度として補助する。	
	現在	補助金等交付				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					

成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
補助件数		件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1	2	3	5	
計算 根拠			達成率	20	40	60	100	
			実数値					

	ランク	C	C	C	
前年度 ランク B、Cの 理由	制度の周知をしてきたが、令和5年度実施予定の2団体が準備の遅れ等により令和6年度実施となったため。				

D
O
実
施

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	100	400	400	400	400		事業タイ	単独事業
	決算額	100	80	160	200	400		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	8	601	環境まちづくり推進事業費補助金	16,560	400
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	400

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組 内容	環境活動団体に新規事業の取組みを奨励するとともに、地域の環境保全や環境教育などを行う環境活動団体に8万円を限度に補助する。	

来年度へ 向けて	R5年度 の実績	3団体から補助金申請あり
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 補助金について、環境活動を行う団体には窓口等で周知している。令和6年度は満額(5団体)の申請があった。引き続き周知を継続する必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 区長ハンドブック以外では周知がされていないため、別の周知方法を検討する。	
	R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	不法投棄防止対策事業
R5年度 事業名	不法投棄防止対策事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	不法投棄の根絶					
	概要	不法投棄の根絶のため、パトロールを実施するとともに、広報のほか看板を設置して、不法投棄防止の意識啓発に努める。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	市広報・不法投棄防止の看板作成委託		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
				目標値	10				
				実績値	12				
	不法投棄の根絶のための啓発看板設置数		個	目標値	15	15	15	15	15
				実績値	43	15	11	22	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	不法投棄の処理件数		件以下	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	95	31	29	19	
	計算 根拠			達成率	105.3	322.6	344.8	526.3	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	504	514	323	344	344		事業タイプ	単独事業
	決算額	297	396	0	339	261		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	6,652	344
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	344

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	不法投棄防止に関する広報及び看板作成、監視カメラの活用地域巡回強化により、まち美化を推進し不法投棄の根絶のため、パトロールを実施する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	不法投棄防止看板を11枚町内へ貸し出した。 監視カメラを1町内に貸出、不法投棄を抑制した。 不法投棄防止のパトロールを12回行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	警察、県との連携、情報共有の強化。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	一般環境監視調査事業
R5年度 事業名	一般環境監視調査事業

総合戦略 体系	451	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	公害の防止
------------	-----	--------------------------------------	---------------	-------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止に努め、自然環境の保全を図る。				
	概要	毎年作成する環境監視測定計画に基づき、大気や河川水等の測定・分析を行い、環境の状況の把握に努め、鯖江の豊かな自然と人との共生できる環境の維持に努める。				
	法令等 根拠	鯖江市公害防止条例	実施 形態	内 容	分析業務については、民間に委託して実施する。	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	測定箇所数		箇所	目標値	70	70	70	70	70
				実績値	70	70	70	70	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,392	11,843	12,198	11,883	18,395		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	11,358	10,868	11,118	11,165	11,253		経費区分	補助費等
	【単位:千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	27,954	18,395
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	18,395

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	(一部)公共用水域常時監視調査事業委託金		386	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	386

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
12	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	調査結果の検証をしつつ、継続して調査を実施する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	令和5年度の測定は70箇所であった。(大気自動監視測定2、水質汚濁一般項目31、河川底泥有害物質19、ダイオキシン7、穴田川水質6、河和田地区水環境5)
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業
R5年度 事業名	一般廃棄物収集運搬適正処理事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、家庭からごみステーションに排出されたごみの収集・運搬等を実施し、一般廃棄物の適正処理を行う。				
	概要	家庭用一般廃棄物【燃えるごみ、燃えないごみ、資源物（空き缶他10種）、有害物（乾電池他2種）】を収集する。				
	法令等 根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等	実施 形態	内容	啓発：市 収集業務：委託	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ごみ収集日数(可燃ごみ)※～2020年度		日	目標値					
				実績値					
	ごみ収集日数(不燃ごみ・資源物)※～2020年度		日	目標値					
				実績値					
	減量化へ向けた啓発回数※2021年度～		回	目標値	30	30	30	30	30
				実績値	149	52	48	57	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	1人1日当たりごみ排出量※～2020年度		g／人・日	目標値					
				実績値					
	計算 根拠	ごみ総排出量／鯖江市人口／当該年度の日数		達成率					
				実数値					
1人1日当たり燃やすごみ排出量※2021年度～		g／人・日	目標値	515	450	430	420	409	
			実績値	496	422	408	404		
計算 根拠	ST燃やすごみ＋直接搬入燃やすごみ／人口×日数		達成率	103.8	106.6	105.4	104.0		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	215,000	216,775	223,149	230,988	242,109
決算額	206,384	210,053	216,130	223,051	229,958

タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	2	1	202	ごみ収集委託料	259,406	242,109
2							
3							
4							
5以降							
						合計	242,109

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員

正規職員	0.1
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	ごみの減量化、資源化を進めるため、ごみ処理基本計画に基づき、適正な家庭からの一般廃棄物(燃えるごみ・燃えないごみ・資源物(空き缶他10種)・有害物(乾電池他2種))のステーション排出を指導するとともに、排出量の削減、分別の徹底啓発に努める。	
来年度へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 食べきり運動、生ごみたい肥化、買いすぎない運動、使い捨て製品使用の自粛	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	資源物リサイクル推進事業
R5年度 事業名	資源物リサイクル推進事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	1992	終了年度	9999
	目的	適正なごみの分別を徹底するため、市の広報やホームページをはじめ、出前講座やまちづくりモニター制度による現地啓発等を行い、町内ステーションに出された資源物のリサイクル率の向上を図る。				
	概要	家庭ごみのうち、資源物として町内ステーションに排出される、古紙、トレー、プラスチック類、繊維類等の分別、排出の徹底を図り、生活系一般廃棄物における、リサイクル率の向上に努める。				
	法令等 根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等	実施 形態	内容	啓発:市 収集処理:委託	
	現在	民間等委託(一部)				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	総資源化量		t	目標値	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
				実績値	1,900	2,500	2,200	2200	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	家庭ごみリサイクル率		%	目標値	18	18	18	18	18
				実績値	12.7	18.5	17.5	17.2	
	計算 根拠	ST資源物(民間回収含)＋市民団体等集団回収資源物/STごみ排出量	達成率	70.6	102.8	97.2	95.6		
			実数値	1,902/15,021	2,536/13,680	2,263/12,958	2,189/12,736		
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	21,988	21,092	36,159	37,323	39,961
決算額	21,988	21,092	36,159	30,857	37,381

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	59,377	39,961
2							
3							
4							
5以降							
						合計	39,961

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない
--	---

ACTION

今年度

R6方向性⇒維持

取組内容

燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている現状を広報で周知し市民へさらに協力依頼するとともに、町内の総会などを利用し、出前講座や減量化の依頼を多数実施することで、分別・排出の徹底を図り、資源化の推進を図る。

来年度へ向けて

R5年度の実績

家庭ごみリサイクル率17.5%

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	地下水汚染対策事業
R5年度事業名	地下水汚染対策事業

総合戦略体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
--------	-----	----------------------------------	---------------	----------

PLAN計画	部署名	環境政策課		開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	地下水揚水処理施設整備事業の効果を測定する。					
	概要	地下水汚染区域および周辺の井戸において、年2回～4回定期的にモニタリング調査を実施し、ガスクロマトグラフ質量分析計(GS-MS)により有機塩素系化合物の分析を行い、継続して汚染状況の監視に努める。					
	法令等根拠	水質汚濁防止法	実施形態	内容	地下水に含まれる汚染物質の濃度を低減するため、水質の浄化を行うとともに、水質調査を実施し、住民への周知に努める。		
	現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
測定箇所数		箇所	目標値	60	60	60	55	46
			実績値	60	55	55	47	
計算根拠	・測定箇所数を成果指標としているが、現在の環境基本計画のめざすべき環境水準の状況「No7 地下水質監視」の目標である「すべての地点で環境水準値以下を達成し、その状態を維持します」を成果指標としたい。		達成率	100	91.7	91.7	85.5	
			実数値					
			ランク	A	B	B		
前年度ランク B、Cの理由	測定箇所だった店舗の廃業等により。							

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	5,961	2,022	2,022	3,716	3,804
決算額	5,241	1,301	1,980	1,125	2,177

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	27,954	3,804
2							
3							
4							
5以降							
						合計	3,804

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.5
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

汚染物質の経年変化や測定値と基準値との関係を基に、測定箇所と測定回数の見直しを実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

令和5年度の測定は55箇所であった。(水源調査7, 定期モニタリング41, 浄化対策井戸7)

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

地区の汚染状況サンプルの減少

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	定置式可燃ごみ収集容器設置補助事業
R5年度 事業名	定置式可燃ごみ収集容器設置補助事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	町内の可燃ごみ収集容器設置への助成補助を実施し、適正なごみ集積所の設置で市内の環境美化の向上を図る。				
	概要	可燃ごみ収集容器の製造または、購入に対する補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	廃棄物容器製造または購入事業に対し、補助している。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	補助件数/補助申請件数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	15/15	13/13	15/15	6/6		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000
決算額	907	904	1,207	1,157	535

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	2	1	602	廃棄物容器設置費等補助金	1,300	2,000
2							
3							
4							
5以降							
						合計	2,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
--	---

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

燃やすごみの収集容器の製造、購入に対し補助率2分の1で、固定式は10万円、移動式(折りたたみ式)は5万円を限度に補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

定置式可燃ごみ収集容器設置対応率100%

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	騒音・振動・悪臭調査事業
R5年度 事業名	騒音・振動・悪臭調査事業

総合戦略 体系	451	『住みたいまち』で、さばえる！安心して快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	公害の防止
------------	-----	----------------------------------	---------------	-------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	1973	終了年度	9999
	目的	環境監視を継続して実施することにより、公害の未然防止を図る。				
	概要	毎年作成する「環境監視測定計画」に基づき、市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の測定を行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について対象となる悪臭物質の測定・分析を行い、改善指導等を実施する。				
	法令等 根拠	騒音規制法、振動規制法	実施 形態	内 容	関係機関への許可申請については市が行い、測定調査については、委託して実施する。	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	延べ測定地点数(騒音13+振動6+悪臭1)		箇所	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	20	20	20	20	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
ランク				A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	3,246	3,025	3,200	3,247	3,410
決算額	3,025	3,025	3,080	3,102	3,410

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	6	201	公害監視測定事務諸経費	27,954	3,247
2							
3							
4							
5以降							
						合計	3,247

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.1
会計年度職員		
※所要時間		0

CHECK

評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

市内の主要道路を中心に自動車騒音・振動の行うとともに、悪臭を発生するおそれがある事業所について悪臭の調査を実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

令和5年度の測定は20箇所であった。(騒音(定点)10、騒音(面的)3、振動6、悪臭1)

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

測定地点など計画的に行っている。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	生ごみリサイクル推進事業
R5年度 事業名	生ごみリサイクル推進事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心で快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	---------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの現状を分析するために、毎年、「家庭系燃えるごみ」の組成調査を行っているが、特に、重量比率で「生ごみ」の割合が30％以上と高い状況にある。そこで、地域の家庭生ごみ減量化、資源化の取り組みとして、「生ごみリサイクル市民ネットワーク」と連携し、生ごみの減量化、資源化に努める。					
	概要	市内全地区に活動グループがある「生ごみリサイクル市民ネットワーク」の活動を支援する補助金を交付する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」への補助金交付および「ダンボールコンポスト」普及啓発事業の民間委託		
	現在	民間等委託(一部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数(新規)		世帯	目標値	100	100	100		
			実績値	108	202	71		
計算 根拠	2020～「生ごみリサイクル市民ネットワーク」加入世帯数+「ダンボールコンポスト等」取組み世帯数(新規)		達成率	108	202	71		
			実数値					
生ごみリサイクル市民ネットワーク会員数		人	目標値	390	400	320	310	300
			実績値	352	317	304	284	
計算 根拠			達成率	90.3	79.3	95.0	91.6	
			実数値					
			ランク	B	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,500	1,200	1,200	1,200	1,200		事業タイ	単独事業
	決算額	750	1,018	1,055	1,054	948		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	204	グリーンリサイクルタウン事業費	9,707	1,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,200

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」の活動支援として、対象経費の1/2以内で120万円を限度に補助金を交付。 活動内容は、各地区に会員があり、生ごみ減量化に向けたボカシづくり講座、家庭菜園講座、小学校等での環境体験講座など幅広く活動している。	
来年度へ向けて	R5年度の実績	家庭生ごみリサイクルの取組み世帯数3398世帯(累計)
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」の活動内容の拡充
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	「生ごみリサイクル市民ネットワーク」の高齢等の理由で退会する会員を補うための会員拡大を行う。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業
R5年度 事業名	廃棄物分別・ごみ減量化・資源化市民啓発事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ごみの分別や減量の目的・方法について、広く市民に啓発し、家庭から発生するごみの減量化・資源化をめざす。				
	概要	ホームページや広報等を通じて広く市民に啓発する。また、見学コースについても適時見直すなど、見学会の内容を常に検討を行い、住民のごみ減量化・資源化意識の向上を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	リサイクル施設に係る見学会案内事務をNPOに委託して実施する。	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ごみ処理・リサイクル施設見学会開催回数		回	目標値	5	5	5	5	4
				実績値	1	3	6	4	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	ごみ処理・リサイクル施設見学参加者数		人	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	30	132	134	55	
	計算 根拠	リサイクル施設・ごみ処理施設見学参加者数(区長会のごみ処理施設等視 察等)	達成率	60	264	268	110		
			実数値						
				ランク	C	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	407	407	407	407	407		事業タイプ	単独事業
	決算額	200	400	400	400	400		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	6,652	407
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	407

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある								
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない			
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善		成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない			
	9点～16点	維持または 事務改善						

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	区長を通した区民へのごみ分別等の出前講座の開催と、区長を中心とした自治会代表者にクリーンセンターと廃プラスチック類のリサイクル工場を見学してもらう。	
来年度へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 出前講座は区民が町内公民館等集まってもらうことになり、また施設見学会は市のバスを利用して区長に見学してもらうが、どちらも密になる可能性があり、コロナ5類移行後も参加者がコロナ禍以前より集まりにくい状況である。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	河川環境保全活動推進事業
R5年度 事業名	河川環境保全活動推進事業

総合戦略 体系	455	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	河川等の美化、愛護思想の普及、意識の高揚活動の実践に寄与する。				
	概要	「日野川を清く美しくする会」が実施する河川等の美化、愛護活動事業に対する補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	団体の事務局を環境政策課が行っている。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	会報の発行回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	河川清掃の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	8	602	河川環境保全活動推進事業費補助金	1,200	1,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,200

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	河川等美化愛護活動事業費補助金		600	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	600

事業要員	正規職員	0.6
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない 効果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	自然環境保全意識の高揚を図るため、環境美化活動や自然愛護活動を継続して実施する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	河川清掃、河川パトロール、水生昆虫観察会、草刈り機の点検保守。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R3年度からこの事業の中で行うことになった「外来植物防除活動支援」の周知。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	生活排水路等環境美化事業
R5年度 事業名	生活排水路等環境美化事業

総合戦略 体系	455	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	美化活動の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	生活環境、公衆衛生、環境美化の向上を図る。				
	概要	町内会が実施した排水路の清掃後の土砂・泥等の回収処分等を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	泥回収等の業務を業者に委託している。	
	現在	民間等委託（一部）				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	土泥等回収実施件数/土泥等回収要望件数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	88/88	100/100	143/143	107/107		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,000	6,000	6,000	6,017	6,017		事業タイプ	単独事業
	決算額	3,954	4,804	2,779	3,336	3,711		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	201	清掃業務諸経費	6,652	6,017
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	6,017

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	町内清掃・暗渠清掃から発生した土砂・泥等の回収処分を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	町内清掃後の土砂回収処分(回収量t) 140箇所(193t)、暗渠部分の清掃 3箇所(13t) 計 143箇所(206t)			
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし			
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし			
	R7方向性⇒	維持			

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	小型廃家電リサイクル事業
R5年度 事業名	小型廃家電リサイクル事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課		開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律に基づき、小型廃家電を分別収集し、再資源化を適正に行なう事業者へ引渡すことで再資源化を促進する。					
	概要	市役所、量販店等に専用の回収ボックスを設置し、市民に使用済となったデジタルカメラ、携帯電話、電卓等を持込んでもらう。2週間に1回民間業者が回収し、ストックヤードへ搬入保管する。これらを資源化事業者へ、適正処理を行い再資源化する。					
	法令等 根拠	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	実施 形態	内容	啓発、回収、再資源化処理		
	現在	民間等委託（一部）					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広報さばえへの掲載		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	小型廃家電回収量		t	目標値	4	4	4	4	4
				実績値	6.3	6.1	6.5	7.6	
	計算 根拠			達成率	157.5	152.5	162.5	190	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	495	495	495		事業タイプ	単独事業
	決算額	440	495	495	495	495		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	59,377	495
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	495

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	回収効率のよい量販店等に回収ボックスを設置し、ごみの分別ポスターや広報、HPなどで啓発を行いながら、事業を推進する。利用者の利便性を考え、設置量販店を増やす働きかけも並行して行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	小型廃家電回収量 6.5t
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	食べきり、水切りごみ減量化事業
R5年度 事業名	食べきり、水切りごみ減量化事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	----------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	燃えるごみの約3割を占める生ごみの減量化を促進するため、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。				
	概要	生ごみ水切りの啓発を図るとともに、食べ物を残さない「食べきり運動」の推進し、今後のごみ減量化に向けた施策への契機とする。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	生ごみの水切りや「食べきり運動」を推進するため啓発活動を行う。	
	現在	市直営				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
食べきり運動に関する啓発			目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
「食べきり運動」における啓発活動回数		回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	8	
計算 根拠	イベントでのブース設置回数および地域活動回数		達成率	100	100	100	100	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	※ゼロ予算
	予算額	0	0	0	0	0		事業タイプ	※ゼロ予算
	決算額	0	0	0	0	0		経費区分	※ゼロ予算

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	0

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	燃えるごみの約3割を占める生ごみの減量化を促進するため、イベント等で啓発活動を行い、食品ロスを含め生ごみの減量化を図り、ごみとして排出する前の生ごみ水切りの徹底と料理の食べきり普及により生ごみの減量化を推進する。	
来年度へ向けて	R5年度の実績	食べきり運動に関する啓発1回 「食べきり運動」における啓発活動回数8回
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	廃プラスチック類の分別資源化事業
R5年度 事業名	廃プラスチック類の分別資源化事業

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心で快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	---------------------------------	---------------	----------

PLAN 計画	部署名	環境政策課		開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、資源化に努めているトレーやプラスチック製容器包装類のうち、汚れの付着などにより、再資源化基準を満たせないものや、燃やすごみで排出されているプラスチック類についても、分別回収、資源化することにより、燃やすごみの減量化、資源化の促進に努める。					
	概要	燃やすごみで処理しているプラスチック類等を資源物として分別回収を行い、民間業者に委託して、固形燃料化する。					
	法令等 根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	実施 形態	内容	啓発:市 収集・処理:委託		
	現在	民間等委託(一部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	資源物ステーション数		箇所	目標値	290	290	290	290	290
				実績値	293	294	294	294	
				目標値	30				
				実績値	30				
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	容器包装以外のプラスチック類収集量		t	目標値	51	52	80	80	80
				実績値	43.9	80.7	80.7	69.4	
	計算 根拠			達成率	86.1	155.2	100.9	86.8	
				実数値					
				ランク	B	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,404	2,508	3,383	6,693	8,996		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,858	1,934	3,383	6,677	6,302		経費区分	物件費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	2	1	203	ごみ減量化・資源化推進事業費	59,377	8,996
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	8,996

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	資源物を回収するステーションにおいて、廃プラスチック類のコンテナを設置し、回収して、固形燃料化する。広報の強化、町内説明会にて周知を徹底する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 容器包装以外のプラスチック類収集量 80.7t	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 燃やすごみの中に、多くの資源物が混入されている現状を広報で周知し分別を呼び掛ける。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業
R5年度事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業

総合戦略体系	453	『住みたいまち』で、さばえる！安心して快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	ゼロカーボンシティの実現
--------	-----	----------------------------------	---------------	--------------

PLAN計画	部署名	環境政策課		開始年度	2019	終了年度	9999
	目的	【COOLCHOICE普及啓発事業】 環境紙芝居や環境落語など親しみやすい啓発活動により、二酸化炭素排出抑制意識を高める。					
	概要	【COOLCHOICE普及啓発事業】 市民を対象に環境紙芝居や環境落語を開催して、取り組みを推進するとともに、二酸化炭素排出抑制意識を高める。					
	法令等根拠		実施形態	内容	提案型市民主役事業で実施。		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標								
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	普及・啓発の回数	回	目標値	5	5	5	5	5	
			実績値	7	3	7	6		
	成果指標								
	指標名	単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	アンケート実施	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100	100		
	計算根拠	環境紙芝居・環境落語を実施した小学校の参加児童アンケート回収率	達成率	100	100	100	100		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,500	5,000	690	712		事業タイ	補助(国)事業
	決算額		1,500	133	415	390		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	19,491	700
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	700

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	100

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	株群島社に、COOLCHOICE普及啓発事業を委託し、市民を対象に環境紙芝居や環境落語を開催して、取り組みを推進するとともに、二酸化炭素排出抑制意識を高める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	落語会 7回
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	落語の内容を時世に合わせたものに変更しながら、継続する。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	未来をはぐむ環境問題啓発プロジェクト
市民主役事業にかかる額(単位千円):	690
R7年度事業名	未来をはぐむ環境問題啓発プロジェクト
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	野良猫の不妊手術費補助金
R5年度 事業名	野良猫の不妊手術費補助金

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	動物愛護の観点から、野良猫の増加を防止するため、不妊手術を実施する個人または団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。				
	概要	手術料金 オス10,000円 メス15,000円 申請者負担金 オス 5,000円 メス 8,000円 市補助金 オス 5,000円 メス 7,000円 見込み オス5,000円×9件 メス7,000円×15件計 150,000円				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	野良猫の不妊手術費補助金の実績報告、請求および受領について公益社団法人福井 県獣医師会と協力し行う。	
	現在	補助金等交付				

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
補助対応率		%	目標値		100	100	100	100
			実績値		100	100	100	
計算 根拠			達成率		100	100	100	
			実数値				27/27	
			ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			210	160	238		事業タイ	単独事業
	決算額			95	99	225		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	4	1	3	610	野良猫の不妊手術費補助金	376	238
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	238

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	HP、チラシなどで啓発を行い、福井県動物愛護センターと連携しながら事業を推進する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	雄猫が1匹あたり5,000円の助成で4匹で計20,000円 雌猫が1匹あたり7,000円の助成で11匹計77,000円 福井県獣医師会への事務委託手数料1,500円
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和4年度からの制度であり、継続して制度の啓発をしていく必要がある。 福井県獣医師会が平成29年度から飼い主のいない猫の不妊手術支援事業を開始し、1匹当たりオス去勢手術料金10,000円、メス避妊手術料金15,000円の特別料金で実施してきたが、令和6年度からオス13,000円、メス18,000円に値上げされた。 令和4年度から半額補助を実施してきたが、値上げにより令和6年度からオス5,000→6,000円、メス7,000→9,000円に1匹当たりの補助金額を増額した。あわせて申請者負担もオス5,000→7,000円、メス7,000→9,000円に増額となった。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	SABAEボトルフリープロジェクト
R5年度 事業名	SABAEボトルフリープロジェクト

総合戦略 体系	452	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	循環型社会の推進
------------	-----	--------------------------------------	---------------	----------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	市内の公共施設に無料で給水できるウォーターサーバーを設置し、マイボトルを持参することでPETボトル飲料の購入を控え、ごみの削減につなげるとともに、プラスチックボトル製造・リサイクル時に発生するCO2削減を目指す。				
	概要	市内公共施設にウォーターサーバーを設置する。 設置箇所：市役所本庁舎、スポーツ交流、NP0センター				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	ウォーターサーバー設置業者へ委託	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値					
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
設置箇所			箇所	目標値		6	5	6	
				実績値		3	6		
計算 根拠				達成率		50	120		
				実数値					
				ランク		C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額			300	231	311
決算額			73	231	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	8	201	環境まちづくり推進事業費	19,491	311
2							
3							
4							
5以降							
						合計	311

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

全国で給水器事業「ボトルフリープロジェクト」を行うウォータースタンド株式会社の給水器を市内公共施設に設置し、ペットボトルの削減を目指す。

来年度へ向けて

R5年度の実績

従来の3箇所(本庁舎2階、スポーツ交流館、NPOセンター)に加え、令和5年度に新たに3箇所(本庁舎1階、本庁舎3階2箇所)に給水器を設置し、ペットボトルの削減を目指した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

多くの人が利用できるよう周知する必要がある。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

R6年度で終了する。
R6年度まで環境政策課が委託料で執行していたウォータースタンドの保守管理委託をR7年度からはそれぞれの所管課に移管する。

R7方向性⇒ 終了

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	コウノトリ保全事業
R5年度 事業名	コウノトリ保全事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	環境政策課	開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	生物多様性の保全に配慮しつつ、地域の特性や環境資源の特徴を生かした自然環境の保全を目指し、各地域住民や団体と市が連携して、活動を展開することで、コウノトリの保護活動の推進を図る。				
	概要	コウノトリファンクラブ・野生生物再生の会・市が連携して、コウノトリを見守る。				
	法令等 根拠	文化財保護法	実施 形態	内容	コウノトリファンクラブ・野生生物再生の会へ補助	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	※設定困難			目標値						
				実績値						
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	コウノトリの雛の見守り		%	目標値			100	100	100	
				実績値			100	100		
	計算 根拠	雛が育った場合、足環装着雛数/雛数		達成率			100	100		
				実数値			4/4	2/2		
							ランク			A
	前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額				298	317
決算額				298	305

タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

事業名

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	4	1	8	202	自然環境保全推進事業費	1,257	317
2							
3							
4							
5以降							
						合計	317

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員

正規職員	
会計年度職員	
※所要時間	100

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	人工巣塔で孵化が確認されたコウノトリ2羽に、個体ごとの生存や繁殖の状況の追跡調査のための足環を装着した。	
来年度の実績	人工巣塔で孵化が確認されたコウノトリ4羽に、個体ごとの生存や繁殖の状況の追跡調査のための足環を装着した。	
来年度へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 足環装着時に、見物人や周辺の通行車などの騒音、振動に脅かされないよう鍵と作業従事者の安全を確保を徹底する必要。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒